



町長日誌

No.22

町長日誌の第22号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。



5月16日(月) AM9:00

今朝、7:30から沙留バス停横の交差点で交通安全運動の街頭指導をいたしました。タイミング良く好天で通学の子供たちと会話したり、お仕事に向かう皆さんとご挨拶することが出来ました。帰りがけ沙留郵便局長の今井さんとお会いしたところ『いやあ～町長、ホタテの稚貝撒きも未だ2日しか出来なくて漁師さんたちも元気が無く、今に暑くなるからと励ましているんですよ』と今井局長は話してくださいました。桜も未だに咲けなく海も山も春のスタートが遅れています。今月末からは運動会も始まります。早く暖かい日が続くことを天に祈るばかりです。

4月20日(水)

5日から続いた老人クラブの各地区総会が豊野を最後に終了しました。全部で9クラブあり、決算・予算案審議、役員改選などが行われました。都合よく全ての総会に出席出来ましたが、気になることが一つありました。それは、ご高齢で一人暮らしの方に『食事の支度が面倒になった、町長さん“きらり”に入れてもらえんかい』と言われる人が増えたことです。「病は気から」と言う言葉が有りますが、人が80年90年と気力を持続することは並大抵のことではないと思います。しかし、自分で手足を動かし生活すること、次の食事の献立を考えたり、家族が交通事故に遭わぬよう心配したりすることが“気を使う”つまりは「気力」というエネルギーが体に生じることだと私は思います。私は未だ48歳なので理解しきれませんが、特に一人暮らしの方は、老人クラブなどを通しておしゃべりや体を動かし「ぴんぴんころり」を目指してのんびりと人生を楽しんでいただきたいと思います。各総会での昼食、大変ごちそうさまでした。

4月25日(月)～28日(木)

25日名寄発19:37のJRで札幌に向かいました。22時頃に札幌に着いて道庁横の定宿に泊まり朝9時頃から道庁内の関係部署を回り、挨拶したり、お願いをしたり、意見交換をしたりと言うのがほとんどの出張のパターンで夕飯が駅弁かコンビニ弁当ということも珍しくありません。今回は「道町村会総会」を始め「治水・砂防・海岸事業促進同盟総会」など六つの総会に出席してきました。私たち市町村は、国・道の予算が安定的に確保できる様、色々な同盟・協議会・協会を組織しています。この総会での先輩首長の発言などが新米首長としては結構勉強になるものなのです。また、この時期は例年、知事を始めとする道幹部との交流会もあり、この様な場で幹部の方と親しくなるのも首長の仕事の一つです。

5月10日(火)

お昼ごろ、私の友人の奥さんから『お陰様で、昨日無事に主人の手術がおわりました』という内容の電話がありました。友人は年前から喉に違和感があり専門病院で検査したところ、喉にがん細胞が見つかり、とりあえず約40回の放射線照射治療を試みましたが、思うように小さくなりませんでした。残された手段はがん細胞と一緒に声帯を除去する手術を行うしかありません。つまりは声が出なくなるのです。5月7日彼の声帯から発せられる声を手術前にもう一度聞いておきたくて、また少しでも励ましになればと見舞いに行きました。喉を放射線で焼いており、口から食事が取れないため、かなり痩せていましたが、声を失うという恐怖に耐え、これからの家族の将来の不安に打ち勝ち、とても元気で逆に私の体調を気遣ってくれるくらいでした。恐らくやせ我慢していたのでしょうが、友人が勇気を持てたのは実はリハビリを行えば腹筋を使ったり、補装器具を使ったりしてかなり聞き取れる声が出ることを先輩患者さんに体験を交えて教えて頂いたからです。現在旭川日赤病院の患者会が主催する『北鈴会発声教室』で第1週を除く毎週日曜日に先輩患者などの人が中心となりリハビリや様々な相談が出来る教室があります。また、社会的保障制度もあります。この友人の様に、私たちが歩む長い人生には様々な障害に遭遇すると思いますが、案外色々な対処法があるものです。その為の窓口として役場や病院があります。お気軽に、早めにご相談ください。

何事も決して一人では悩まない、誰かに相談する。それが大切です。それにしてもどうして痩せないのだろう？誰か教えてください！では、また。



町長のメールアドレスは、mayor@town.okoppe.hokkaido.jpです。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 2・2131です。